

令和6年度 学校運営方針

高岡市立中田中学校

(1) 学校教育目標（小中学校共通）

自ら学ぶ力を身につけ、豊かな心を培い、たくましく未来を生き抜く生徒の育成

- 真理を求める ○ 強い心とからだ
- たくましい実践力 ○ 美しい心



【目指す生徒像】

- ・自ら考え、自ら学ぶことができる生徒
- ・相手のことを考えて行動できる生徒
- ・心身を鍛え、困難を乗り越えることができる生徒
- ・物事に主体的に取り組むことができる生徒

【目指す教師像】

- ・一人一人を見つめ、育てる教師
- ・自ら学び、互いに高め合う教師

【目指す学校像】

- ・生徒、教職員が安心して過ごせる学校
- ・生徒、保護者、地域から信頼される学校

(2) 本年度の重点目標

互いのよさを認め学び合い、主体的に活動する生徒の育成

(3) 本年度の学校運営方針

◇ 学び合い、支え合い、高め合う教職員組織の構築

- ① 重点目標達成のために、全教職員による協働体制を確立し、創意工夫を生かした教育実践を行う。
- ② 生命と人権を守り、安全・安心な教育を推進する。
- ③ 深い生徒理解と心に寄り添った指導を通して、生徒の自尊感情（自己有用感、自己肯定感）を高める。
 - 以下の項目を学校生活の柱とし、明確かつ具体的な指導を実践する。
 - ・相手に伝わる挨拶をする ・環境美化に努める
 - ・時間を守る ・授業に集中し、自ら学ぶ学習習慣を身に付ける
 - ・思いやりのある言動をする ・学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組む
 - 報告・連絡・相談による意思疎通を大切にし、様々な学校課題にチームで対応する。

① 安心・安全で温かい教育環境づくりに努め、生徒及び教職員の生命と人権を守る。

- ・教師が率先垂範して言語環境を整え、温かい人間関係を基盤とした思いやりのある教育環境づくりを推進し、人権意識を高める。
- ・清掃活動の充実、整理・整頓、掲示の工夫等、明るく潤いある環境をつくる。
- ・安全点検・環境保全を徹底するとともに、危機管理意識を高くもち、生徒のきめ細かい観察に努め、事故の未然防止を図る。
- ・教職員が自由に発言し合える風通しのよい職場環境づくりに配慮し、OJT研修の推進によりキャリアに応じた指導力の向上を図る。

② 授業でよく考え、表現し、学び合いを通して、確かな学力を育む。

- ・教材研究に力を入れ、「分かる」「できる」授業に努めるとともに、生徒の知的好奇心を刺激し、多様な意見や考えを表現し、学び合うことで深い学びを実感させる。
- ・見通しをもって主体的に学ぶことができる学習展開の基本を統一するとともに、読解力向上のための取組や、ICT、ワークシート、提示資料を活用するなど、指導過程、指導方法を工夫する。
- ・生徒の実態を把握し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導に努める。
- ・家庭学習課題を工夫（学習端末の活用等）し、家庭学習の習慣の定着を図る。

③ 生徒指導の実践上の視点に留意した教育活動を推進し、自己指導能力を育成する。

- ・全ての生徒が、自発的・主体的に自らを発達させていけるよう、発達支持的生徒指導を行う。（教育活動全体を通じて、常態的・先行的に行う生徒指導）
- ・観察や面談を通じた深い生徒理解に基づき、生徒の心に寄り添った指導を行う。
- ・学校行事や生徒会活動、学級の係活動等において、一人一人の創意を生かす機会を多く設定して達成感や存在感をもたせるとともに、称賛と感謝の言葉がけにより自己有用感を高める。
- ・学校の教育活動全般において、見通しをもち自ら考えて行動できる生徒の育成に努める。
- ・生徒間で学び合う、教え合う活動や、互いのよさを認め伝え合う場を設定し、共感的な人間関係を育む。
- ・道徳科の時間を充実させるとともに、他の教科との関連性を意識し、学校の教育活動全体を通して道徳性を養うよう努める。

④ 健やかな心身の育成を目指し、体力の向上と望ましい生活習慣の定着を図る。

- ・とやまゲンキッズ作戦を活用し、生徒の健康管理能力を高める指導・支援を行う。
- ・体育的行事や運動部活動等を通して、運動の楽しさや喜びを味わわせる。
- ・「いのちの教育」を通して心の健康づくりを充実させ、生徒の心の安定を図る。

⑤ 特別な支援を必要とする生徒への指導の充実を図る。

- ・授業のユニバーサルデザイン化を図るとともに、発達障害等を含めた障害のある生徒への合理的配慮を適切に行う。
- ・特別支援教育コーディネーターが中心となり、保護者や教育及び医療、福祉等の関係機関と連携を図りながら、効果的な対応に努める。

⑥ 小学校、家庭、地域と連携し、地域のよさを生かした小中一貫の教育活動を展開する。

- ・小中学校合同のアウトメディアの取組を中心に、小中学校間の情報共有を図るとともに、保護者とも連携して規律ある生活を送ることができる児童生徒の育成をめざす。
- ・小中の交流活動（合同挨拶運動、合同保健委員会等）や小学校への出前授業、小中合同研修会等を通して、児童生徒理解を深め、小中で連携した児童生徒の健全育成に努める。
- ・家庭との情報交換を密にして、生徒理解に努めるとともに、教師と生徒、保護者との温かい関係づくりに努める。
- ・地域と連携して環境教育やボランティア活動を推進するなど、地域に根ざした諸活動の充実に努める。